

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2017 年 1 月 25 日号 No.267

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http : // www. hhk. jp /



鶏を割くに焉んぞ牛刀を用いん

北阪神支部長 中井 通治



あけましておめでとうございます。昨年は、皆さまにいろいろとお世話になり、心より御礼申し上げます。保険医協会北阪神支部をよろしくお願いいたします。

今年は酉年です。「鶏が先か、卵が先か」というパロックスがありますね。どちらでしょう。12 年前は「鶏口牛後」について書きました。「鶏を割くに焉んぞ牛刀を用いん」とは、小事を処理するのに大がかりな手段を用いるということです。

世の中、いささか大袈裟になっている様です。実と虚の比率をみると虚が多くなっているような、常にシナリオがあって、その上を歩いている様な感じです。必要なところに必要なだけ税金を使ってほしいですね。

達人といわれる人は、自然で無駄がない感じがします。想定外という言葉を使いますが、経済も、地震も、物事すべて想定外と思います。誕生日も死亡日もままなりません。

近くは、英国の EU 離脱も、米国大統領選のトランプ氏の勝利も、マスメディアは予想できませんでした。それは浮ついた情報に惑わされているからです。米国の階層別実質所得の伸び率を見ると、最富裕層 1 % の所得は大きく伸びていますが、残りの 99 % は伸びるどころか物価上昇率をも下回っています。中間層が没落しており、世界最大の債務国になっています。今回の選挙は、民主主義国家の英米でエリートの失敗を民衆が正したということです。次は日本で起これば良いと思います。「アメリカ・ファースト」は米国の願望なのです。日本も「ジャパン・ファースト」と言ってよいのです。米国は中国と似ているので、共存共栄関係になると思います。独は敗戦国ですが、自分の国は自分が守るといって独り立ちしました。

日本も永世中立を宣言して、外交に力を注ぎ、自国を守る力を持てば良いのです。軍備では世界 5 位以内に入っています。己を知り敵を知らば百戦危うからず。孫子の様な戦略が無いのです。

みんなにやさしい兵庫をつくらう

生活をさえる県政 平和にこだわる県政 再生可能エネルギーをすすめる県政



憲法県政の会・代表幹事

津川ともひさ

洲本生まれ 66 歳

名古屋大学法学部法律学科卒業
兵庫県立東播磨高等学校教諭
兵庫県労働組合総連合顧問 (前議長)

憲法県政の会 宝塚の会総会

とき 2 月 11 日 (土) 14 時～
ところ 宝塚市立勤労市民センターにて

私たちは、兵庫県知事選挙に候補者を立て、憲法にもとづく政治をつくるために活動しています

働く人の暮らしを豊かに
最低賃金を 1000 円に

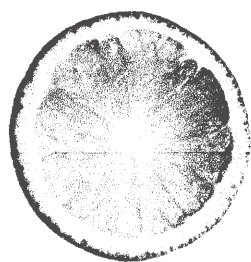
平和を大切に
非核「神戸方式」広げましょう

どこに住んでも安心の兵庫へ
高校卒業までの医療費は無料に

中小業者を大切に
兵庫の産業を応援しよう

教育・子育て安心の兵庫へ
返さなくてもいい奨学金を

原発のない社会に向けて
再生可能エネルギーを広げましょう



憲法が輝く兵庫県政をつくる会 宝塚の会

2017 年 2 月 No. 28 宝塚民商内
(部内資料) 発行責任者 松下修治
☎ 0797-86-4255 Fax 0797-86-4248



社保協自治体キャラバン

市民の命と暮らしを守る自治体に



安心して介護サービスを利用できるよう訴えた

や被保険者の減少が見えない中、引き下げるのは難しい」と回答した。

また、介護保険新総合事業に移行し基準緩和型のサービスが導入されることで、簡易な研修を受けた人材を活用することになり、それによるサービスの低下を懸念する意見に対しては、「裾野を拡げて介護労働従事者を確保することが目的だ」とした。

宝塚社保協では 1 月 19 日に宝塚市役所で懇談を実施した。参加者から「所得 200 万円ほどだが国民健康保険税が 31 万円。生活は苦しい」と保険税が市民の生活実態にそぐわない高負担になっていることを訴えた。毎年引き上がる保険税を抑えるために一般会計からの繰入を増やすべきと要望したが、担当者は「高額な医薬品の使用もあり、負担増はやむを得ない」との回答であった。

子どもの貧困対策について、担当者は「実態調査を行う予定。結果に基づいた政策を行う」と説明。参加した子育て世代の女性からは「お金がないと子育てができない。子どもの貧困は社会保障の切り捨てが生み出したもの。自治体には、市民の命と暮らしを守る立場に立ってほしい」と切実な要求が出された。

各社保協では社会保障の拡充を求め、今後も自治体への要請活動に取り組む。

支部が参加する社会保障推進協議会(社保協)、は自治体キャラバンとして、自治体担当者などと懇談を行い、社会保障改善を訴える運動に取り組んでいる。

伊丹社保協では 1 月 11 日に伊丹市役所で懇談を実施した。参加者から、財政調整基金を活用した国民健康保険税の引き下げを求めたが、市の担当者は税負担が重くなっていることは認識しているとしながらも「医療費の増加



参加者から苦しい生活実態が訴えられた

ご家族・お知り合いの先生をご紹介ください

保険医協会は県下で 7,200 人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、医院経営研究会、歯科定例研究会等など開業医師・歯科医師の診療、経営、生活を全面的にサポートします。

また、3 大共済制度(グループ保険・保険医年金・休業保障制度)への加入など、県下で 1,500 人を超える勤務医の先生方にご利用いただいております。

新たに誕生した積立年金「DefL」も好評をいただいています。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



< 2月のテーマ >

月曜日 子宮内膜症の話
火曜日 口内炎
水曜日 薬の飲み方と副作用
木曜日 膵臓がんの話
金土日 不安神経症

< 3月のテーマ >

月曜日 育てにくさを感じる場合
火曜日 寝たきりの人の歯の手入れ
水曜日 骨も鍛えれば丈夫になる
木曜日 食道がん
金土日 発疹のでる病気と出席停止について
(20 日(月)は、金土日曜日のテーマを放送)



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当; 有本まで